

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-511175(P2000-511175A)

【公表日】平成12年8月29日(2000.8.29)

【出願番号】特願平9-542377

【国際特許分類第7版】

C 07 C 311/19

A 61 P 9/10

A 61 P 19/02

A 61 P 43/00

A 61 K 31/18

A 61 K 31/195

A 61 K 31/216

C 07 C 311/29

C 07 C 311/37

C 07 C 311/42

【F I】

C 07 C 311/19

A 61 K 31/00 609 F

A 61 K 31/00 619 A

A 61 K 31/00 643 P

A 61 K 31/18

A 61 K 31/195

A 61 K 31/215 601

C 07 C 311/29

C 07 C 311/37

C 07 C 311/42

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月22日(2004.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

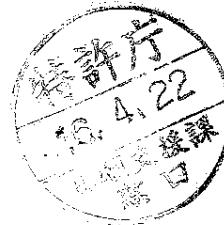
手 続 補 正 書

平成 16 年 4 月 22 日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示

平成 9 年特許願第 542377 号



2. 補正をする者

住 所 アメリカ合衆国ニュージャージー州 07950. モーリス
プレインズ. テイバーロード 201

名 称 ワーナー・ランバート・コンパニー

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区麹町一丁目 10 番地(麹町広洋ビル)
電 話 (3261)2022

氏 名 (9173) 高 木 千 嘉 (代理印)
(外 1 名)

4. 補正命令の日付 (自発)

5. 補正対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

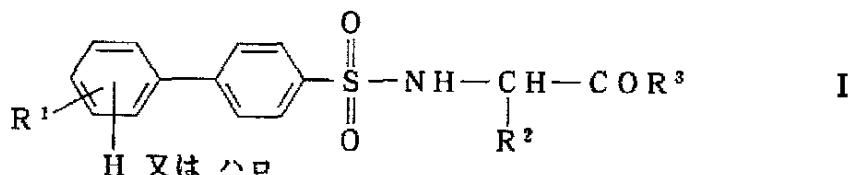
7. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

方 式 査
佐藤

請求の範囲

1. 式 I



(式中、R¹はC₁～C₆アルキル、ハロ、ニトロ、(CH₂)_{0～4}-NR⁴R⁵、シアノ、OR⁴、O=CH、CF₃、O=CNR⁴R⁵およびCOOR⁴であり、

R²は水素であるか、または場合によりフェニル、置換されたフェニル、フェノキシ、置換されたフェノキシ、NR⁴R⁵、OR⁶、カルボキシ、



カルボキサミド、H₂N-C(=O)-HN-、チオ、メチルチオ、インドール、イミダゾールおよびフタルイミドによって置換されたC₁～C₆アルキルであり、

R³はOH、OC₁～C₆アルキルまたはNH₂OHであり、

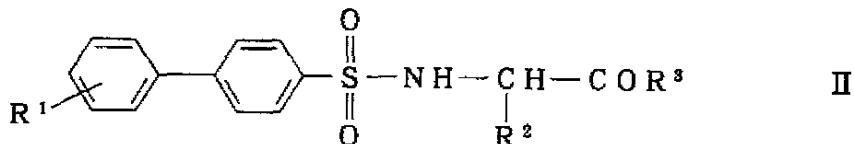
R⁴は水素、C₁～C₆アルキルまたはC₁～C₆アルカノイルであり、

R⁵は水素またはC₁～C₆アルキルであり、そして

R⁶は水素、C₁～C₆アルキル、C₁～C₆アルカノイル、フェニルまたは置換されたフェニルである)

を有する化合物ならびに医薬上許容しうるその塩および溶媒和物。

2. 式



(式中、R¹はC₁～C₆アルキル、ハロ、ニトロ、NR⁴R⁵、シアノ、OR⁴およびCOOR⁴であり、

R²は場合によりフェニル、置換されたフェニル、NR⁴R⁵、OR⁶、

NH

||

カルボキシ、カルボキサミド、 $\text{H}_2\text{N}-\text{C}(=\text{O})-\text{HN}-$ 、チオ、メチルチオ、インドール、イミダゾールおよびフタルイミドによって置換された $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキルであり、

R^3 は OH 、 $\text{OC}_1 \sim \text{C}_6$ アルキルまたは NH_2 であり、

R^4 は水素、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキルまたは $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルカノイルであり、

R^5 は水素または $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキルであり、そして

R^6 は水素、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキル、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルカノイル、フェニルまたは置換されたフェニルである)

を有する請求項 1 の化合物。

3. R^3 が OH である、請求項 2 の化合物。

4. R^2 が $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキルである、請求項 3 の化合物。

5. R^1 が $4'$ 位にある、請求項 4 の化合物。

6. (S)-2-(4'-ブロモ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(4'-クロロ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-3-メチル-2-(4'-ニトロ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-酪酸、

(S)-2-(4'-アミノ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(4'-シアノ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S)-2-(3',4'-ジブロモ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸ナトリウム塩、

(S)-2-(3'-ブロモ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル酪酸、

(S) - 2 - (4' - ブロモ - 2' - フルオロ - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - 3 - メチル酪酸、

(R) - 2 - (4' - ブロモ - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - 3 - メチル酪酸、

(S) - 2 - (4' - ブロモ - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - プロピオン酸、

(S) - 2 - (4' - ブロモ - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - 4 - メチル吉草酸、

(S) - 2 - (4' - メトキシ - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - 3 - メチル酪酸、

(S) - 2 - (4' - フルオロ - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - 3 - メチル酪酸、

(S) - 2 - (3' - フルオロ - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - 3 - メチル酪酸、

(S) - 3 - メチル - 2 - (4' - トリフルオロメチル - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) 酪酸、

2 - (4' - ホルミル - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - 3 - メチル酪酸、

4' - (1 - カルボキシ - 2 - メチル - プロピルスルファモイル) - ビフェニル - 4 - カルボン酸、

2 - (4' - ヒドロキシメチル - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - 3 - メチル酪酸、および

2 - (4' - アミノメチル - ビフェニル - 4 - スルホニルアミノ) - 3 - メチル酪酸

から選ばれる請求項 1 の化合物。

7. R^2 がフェニルまたは置換されたフェニルで置換された $C_1 \sim C_6$ アルキルである、請求項 2 の化合物。

8. (S)-2-(4'-ブロモ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-フェニルプロピオン酸または(S)-(4'-イソプロピル-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-フェニルプロピオン酸である、請求項7の化合物。

9. R^3 が $OC_1 \sim C_6$ アルキルである、請求項1の化合物。

10. (S)-2-(4'-ブロモ-ビフェニル-4-スルホニルアミノ)-3-メチル-酪酸 tert-ブチルエステルである、請求項9の化合物。

11. 請求項1の化合物を希釀剤、担体または賦形剤と混合して含有する医薬処方物。

12. 請求項1の化合物からなるマトリックスメタロプロテイナーゼ阻害剤。

13. 請求項1の化合物を含有する関節炎の治療剤。

14. 請求項1の化合物を含有する再狭窄の治療剤。

15. 請求項1の化合物を含有するアテローム性動脈硬化症の治療剤。